

平成26年度事業報告及び決算を承認！

第48回理事会議事録

平成27年5月7日（木）午後3時30分～午後4時56分 ビルメンテナンス会館4階

審議事項

第1号議案 入会の承認について

正会員 株式会社ティーアール・サービス

正会員 アベックス産業株式会社

原田総務委員長から、標記会社より入会申請があり入会申込書に基づき面談した結果、入会に問題はないとする提案があり、全会一致で承認された。

第2号議案 平成26年度事業報告について

鷲見専務理事から以下のとおり提案説明があり、全会一致で承認された。

- ①「建築物における環境衛生の向上に関する事業」では、「ビル清掃の基本と実務」を発行し、新規の専門講習立ち上げにより受講者が大幅に増加した。
- ②「犯罪の防止・治安の維持、災害の防止に関する事業」では、「警備業務に関する実態調査」を実施した結果、回収率は68%であった。警備員教育については、着実に実施したが受講者は減少傾向であった。
- ③「建築設備機器の事故の防止に関する事業」では、新規講習会の開設等の要因で、受講者が大幅に増加した。また、「設備管理責任者のためのQ&A」の発行やテキスト改訂を行った。
- ④障がい者等支援事業では、JK A補助事業（特別支援学校巡回指導等）、協会単独事業（インターシップ受け入れ等）、都の施設における訓練事業等を着実に実施した。
- ⑤労働安全衛生関係事業では、セミナー開催やKYT研修会などを着実に実施し、労働安全衛生大会を171名の参加で成功させた。
- ⑥ビルメンテナンスフェアTOKYOは6,500名超の来場者を迎え、森永卓郎氏の特別講演、各委員会が担当したセミナー、改善活動フォーラム等を開催した。
- ⑦広報事業では、広報誌を毎月発行うとともに、ビルメンテナンスフェアに関連した新聞広告等の独自のPR活動を行った。また、子ども絵画コンクールの表彰を行い、受賞作品を掲載したカレンダーを作製、学校、児童施設等に配布した。
- ⑧経営研究委員会の事業のうち東京都に対する要望活動では、成果が着実に表れてきている。また、ファシリティマネジメント講習会は会員要望に応える内容で実施した。
- ⑨労務管理関係事業では「労務管理マニュアル」の改訂を行った。
- ⑩会員のための文化スポーツ事業では、野球大会やゴルフ大会等の各種事業を着実に実施した。

- ①会館外壁工事や可動間仕切り改修工事など、長期修繕計画に基づく会館の大規模修繕を計画どおり実施した。

第3号議案 平成26年度決算報告について

星川財務委員長から、以下のとおり提案説明があった。

- ①会費収入は予算額に対し99.8%の収入を得ており、JKA補助金事業に対する補助金収入は420万円であった。
- ②「建築物の環境衛生に関する事業収入」は予算額に対し98%、「犯罪の防止・治安の維持の向上に関する事業収入」は97%、「建築設備機器の事故の防止に関する事業収入」は106%、「普及啓発・活用に関する事業収入」は102%、「収益等その他事業収入」は103%の収入率となり、事業収入の合計は、102%の収入率となった。さらに雑収入を加えた、事業活動収入は予算額3億2,266万円に対し収入額は3億2,617万円となり、収入率は101%であった。
- ③公益目的事業のうち、「建築物の環境衛生の向上に関する事業費」は予算額に対し79%、「犯罪の防止・治安の維持に関する事業費」は88%、「建築設備機器の事故・災害の防止に関する事業費」は105%、「普及啓発・活用に関する事業費」は90%の執行率であった。
- ④「収益等その他の事業費」（収益事業及び共益事業）の中で最大の支出は、会館運営事業費6,900万円であるが、会館外壁工事など修繕工事に4,500万円を支出したほか、電力料の値上げにより水道光熱費が91万円増加した。「収益等その他の事業費」の合計額は執行率97%であった。
- ⑤事業費合計は、予算額2億1,570万円に対し2億289万円となり、94%の執行率であった。
- ⑥管理費は、予算額1億1,882万円に対し執行額1億1,094万円で、執行率は93%であった。
- ⑦当期の事業活動支出計は、予算額3億3,452万円に対し執行は3億1,383万円で93%の執行率であり、当期の事業活動収支差額は、1,233万円のプラスとなった。
- ⑧外壁修繕工事、3階可動間仕切り改修工事等のため、長期修繕積立預金を3,991万円取り崩し、職員の退職による退職金支給により、退職給与引当預金を501万円取り崩した。
- ⑨収支計算書上の当期収支差額は3,424万円のプラスとなり、前期からの繰越額1億358万円を加えた平成27年度への繰越額は、1億3,783万円となった。これを正式決算書類である「正味財産増減計算書」に置き換えた場合、平成26年度の正味財産期末残高は9億9,405万円となり、前年度末より946万円増加した。
- ⑩貸借対照表上の流動資産は1億7,745万円、固定資産は9億1,051万円、資産合計10億8,796万円で、流動負債は3,178万円、固定負債は6,212万円、負債合計

は9,390万円であった。

- ①公益目的事業はすべてマイナスであり、「収支相償」基準をクリアしている。また、公益目的事業比率は60%を超えている。

財務委員長の提案説明の後、長谷川監事から、決算報告書は会計帳簿も記載金額と一致し、法人の収支状況及び財務状態を正しく示している等の監査報告があり、第3号議案は全会一致で承認された。

第4号議案 定款施行規則の一部改正について

原田総務委員長から、昨年開催した第4回定時総会において役員選挙規程を廃止し新たに役員選任規程を制定した際に、定款施行規則の一部に改正漏れ（定款施行規則の一部に役員選挙規程に関連する文言が残っていた）があったので、第5回定時総会で一部改正し文言を整理したいとの提案があり、全会一致で承認された。

第5号議案 平成27・28年度役員等候補者の決定について

役員候補審査委員会（全国協会東京地区代議員選挙管理委員会を兼ねる）坂上委員長の代理として鷲見専務理事から、次期役員立候補者及び全国協会代議員選挙立候補者の状況について報告が行われた後、佐々木会長から、以下のとおり次期役員及び次期全国協会代議員候補者の提案があり、全会一致で決定され、第5回定時総会に付議されることとなった。

その1 役員候補者（立候補）の決定について

(1) 理事

(敬称略)

	氏名	所属会社名	役職名
1	一戸 隆男	興和ビルメンテナンス株式会社	代表取締役
2	松本 誠一	綜警ビルサービス株式会社	代表取締役
3	原田 長治	株式会社MGファシリティーズ	代表取締役
4	佐々木浩二	株式会社ジャレック	代表取締役社長
5	梶山 龍誠	株式会社ビケンテクノ	代表取締役社長
6	石上 豊	サンシャインビルサービス株式会社	代表取締役
7	松井美千代	ビルド・メンテナンス株式会社	代表取締役
8	古山 洋	綜通アメニティサービス株式会社	代表取締役
9	安達義二郎	平成ビルディング株式会社	代表取締役
10	星川 泰博	株式会社ホシカワ	代表取締役社長
11	高安 敏夫	千代田装備株式会社	代表取締役
12	吉澤 幸夫	株式会社サンアメニティ	代表取締役
13	木村 健司	ANA スカイビルサービス株式会社	代表取締役社長
14	榎本 寛	ウィズ株式会社	代表取締役
15	野口 博行	株式会社信陽	代表取締役社長
16	田中 光	光管財株式会社	代表取締役社長
17	山田 忠彦	株式会社プレス	代表取締役
18	佐藤 博	日建管財株式会社	代表取締役社長

(2) 監事

(敬称略)

	氏名	所属会社名	役職名
1	片桐 秀昭	総合建物株式会社	代表取締役
2	大村 清保	いずみ産業株式会社	代表取締役

その2 有識者役員の推薦について

(1) 理事 (敬称略)

	氏名	所属名	職種名
1	西道 隆	西道法律事務所	弁護士
2	森井 博子	森井労働法務事務所	特定社会保険労務士
3	鷺見 博史	公益社団法人東京ビルメンテナンス協会	専務理事

(2) 監事 (敬称略)

	氏名	所属名	職種名
1	石井 泰幸	税理士法人アイム	税理士

その3 全国協会代議員候補者の決定について

(1) 当選者 (敬称略)

	氏名	所属会社名	役職名
1	一戸 隆男	興和ビルメンテナンス株式会社	代表取締役
2	松本 誠一	綜警ビルサービス株式会社	代表取締役
3	原田 長治	株式会社MGファシリティーズ	代表取締役
4	佐々木浩二	株式会社ジャレック	代表取締役社長
5	梶山 龍誠	株式会社ビケンテクノ	代表取締役社長
6	石上 豊	サンシャインビルサービス株式会社	代表取締役
7	松井美千代	ビルド・メンテナンス株式会社	代表取締役
8	古山 洋	綜通アメニティサービス株式会社	代表取締役
9	安達義二郎	平成ビルディング株式会社	代表取締役
10	星川 泰博	株式会社ホシカワ	代表取締役社長
11	高安 敏夫	千代田装備株式会社	代表取締役
12	吉澤 幸夫	株式会社サンアメニティ	代表取締役
13	木村 健司	ANAスカイビルサービス株式会社	代表取締役社長
14	榎本 寛	ウィズ株式会社	代表取締役
15	野口 博行	株式会社信陽	代表取締役社長
16	片桐 秀昭	総合建物株式会社	代表取締役
17	大村 清保	いずみ産業株式会社	代表取締役
18	田中 光	光管財株式会社	代表取締役社長
19	山田 忠彦	株式会社プレス	代表取締役
20	佐藤 博	日建管財株式会社	代表取締役社長

(2) 推薦 (補欠3名含む) (敬称略)

	氏名	所属会社名	役職名
21	小野寺 喬	日建産業株式会社	取締役会長
22	島岡 秀文	中央ビルサービス株式会社 (台東区)	代表取締役社長
23	鈴木 雅之	株式会社プロスペック	代表取締役
24	横田 英雄	不二興産株式会社	専務取締役
25	前田 斉	株式会社ダイケングループ	取締役
26	(補) 寺田 孝	ソブラケアシステム株式会社	代表取締役
27	(補) 坂野 正	株式会社ニワテック	代表取締役
28	(補) 諸岡 寛	アポロビルサービス株式会社	代表取締役会長

第6号議案 功労賞及び永年勤続者表彰について

原田総務委員長から、総会席上で表彰する特別功労賞及び功労賞並びに永年勤続者表彰(役員9名、委員28名)の提案があり、全会一致で承認された。

報告事項

(1) 委員会報告

ア 総務委員会（原田委員長）

① 第5回定時総会について

第5回定時総会招集通知の様式、当日の次第、還暦を迎える会員代表者に対する祝い品贈呈等について確定した。

② 役員懇親会の開催について

第5回定時総会において選任される新規役員体制の最初の理事会（6月9日）終了後、退任された役員への慰労も兼ねて新旧役員の懇親会を開催する。

③ 第49回優良従業員表彰者の推薦について

第49回優良従業員表彰式を6月16日（火）に開催する。役員は是非出席いただきたい。

④ 役員・委員の集い2015の開催について

役員改選後各委員会委員の改選が行われるが、7月15日（水）に委員に感謝する趣旨で役員・委員の集いを開催する。

⑤ 業務改善アカデミーの開催について

各社における改善活動のリーダーの人材を育成するため、推進責任者講座を7月1日（水）、7月31日（金）の2回、2日間に分けて行う。また、指導責任者養成講座を8月27日（木）、9月30日（水）に開催する。

イ 財務委員会（星川委員長）

① 経理規則内規について

予算の有効活用と事業実施の機敏性・機動性を確保するため、当該委員会の予算の範囲内で500万円以下の流用を可能とするなど、経理規則内規を策定した。

② 会館修繕工事の実施について

4月末から5月連休明けにかけて、5階空調設備更新等工事及び2階可動間仕切り等工事を実施した。

ウ 広報委員会（麻生委員長）

① クリアファイルの製作について

協会PRの一環としてクリアファイルを製作し会員に送付した。40社以上から追加注文があった。

エ 建築物衛生管理委員会（山田委員長）

① 第14回ビルクリーニング技能競技会東京大会の開催について

5月26日（火）、ビルクリーニング技能競技会東京大会を開催する。標記大会は、9月15日から16日に札幌で開催される全国協会主催のビルメンヒューマンフェアの中で実施されるビルクリーニング技能競技会の東京地区予選も兼ねている。

② 「清掃業務の実態調査」の実施について

厳しい経済状況の中で「人材不足」と「品質の確保」についての現状を把握するため、実態調査を実施する。

オ 警備防災委員会（佐藤委員長）

① 警備防災セミナー「警備業の現状と対応について」の実施報告について

4月14日、警視庁生活安全総務課の森山勉主任を講師に迎え、平成26年度の立入検査結果を中心にお話しいただいた。参加者は73社82名であった。

カ 建築物施設保全委員会（柳委員長）

① 設備管理における緊急対応力セミナーの開催について

5月8日（金）、多岐にわたる緊急時に設備監理員が適切な対応を行えるよう、昨年度発行した『緊急対応マニュアル』を使って標記セミナーを開催する。

② 金町浄水場見学会の実施について

5月12日（火）、金町浄水場の見学会を実施し、高度浄水施設等を見学する。

③ ビル統括管理責任者講座の開催について

昨年度から開講し好評であった標記講座を今年度も開催する。ビルメン業務全般の統括力と現場マネジメント力の向上によってビル総合管理のプロを育成することを目的とする。日程は、6月6日（土）から7月4日（土）まで計5日間。

キ 障がい者等自立支援委員会（諸岡委員長）

① 平成26年度（公財）JK A補助金事業活動報告及び平成27年度活動計画について

平成26年度の事業総額は5,618,987円で、JK Aからの補助金は4,209,606円であった。活動内容は、都立特別支援学校への清掃巡回指導（10校、62回）や障がい者清掃作業指導員養成研修などを実施した。

平成27年度活動計画は、事業総額5,791,000円で、清掃巡回指導や障がい者清掃作業指導員養成研修の開催などを計画している。

（2）他団体への派遣報告（鷲見専務理事）

① 東京防災救急協会

労務管理委員会島田良雄氏を、東京労働局安全衛生専門委員として引き続き派遣する。今回の任期は、平成27年4月1日から平成29年3月31日まで。

（3）代表理事・業務執行理事の活動報告（鷲見専務理事）

一般法人法第91条第2項及び定款24条第4項に基づき、平成26年10月からから平成27年3月までの間の代表理事及び業務執行理事（副会長、専務理事及び一戸理事）の活動報告として、三役会、担当委員会、各種行事及び他県協会記念行事等への出

席状況を報告した。

(4) 事務局報告 鷲見専務理事

① 4月の事務局の動きと今後の予定について

4月13日及び16日に入会相談があった。3月14日、来年4月東京国際フォーラムで開催される世界大会の併催行事である世界トレードショー（ビルメンテナンスフェア TOKYO2016）に関し全国協会との打ち合わせを行い、24日、東京協会賛助会員の出展意向調査のための説明会を開催した。また、4月後半から、5月連休明けまでの期間で、2階間可動仕切り改修工事及び5階等の空調設備改修工事を実施した。

今後の予定であるが、第5回定時総会を5月29日（金）に開催する。6月理事会は9日（火）に開催し、終了後新旧役員の懇親会を開催する。第49回優良従業員表彰式を6月16日（火）に開催し、7月15日（水）に「役員・委員の集い」を開催する。

(5) その他 鷲見専務理事

① クールビズについて

5月から、協会としてクールビズを実施する。ただし、定時総会及び優良従業員表彰式において登壇する役員はスーツにネクタイ着用とする。

② 臨時理事会開催についての同意書の徴取について

第5回定時総会終了後の臨時理事会において新会長を選出することとなるが、当該理事会は招集する会長が不在の状況での招集となるので、一般法第94条第2項の規定に基づき、次期理事候補者全員から理事会開催についての同意書を事前に徴取する。

(了)